

小平市在宅医療介護連携推進協議会ニュースレター

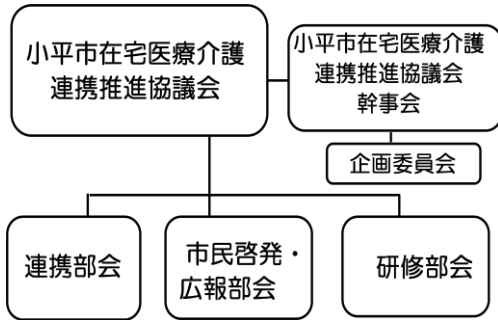
■ 今年度の活動始動！活動テーマ決まる

5月22日（水）に小平市医師会館において、令和元年度第1回小平市在宅医療介護連携推進協議会総会が開催され、平成30年度の活動報告と令和元年度のテーマ、実施予定事業について話し合われた後、各部に分かれ、今年度の活動について話し合いを行いました。

協議会では、昨年度に引き続き《「小平で安心して いくて、いく」看取りを支えるために》をテーマに、「広げる・つながる・深める」活動を各部会で行っていきます。

興味のある方は、是非、研修会等にご参加ください。昨年度の活動については、裏面をご覧ください。

●組織図



【構成団体】

小平市医師会、小平市歯科医師会、小平市薬剤師会、市内病院、小平市訪問看護ステーション連絡会、小平ケアマネ連絡会、小平市訪問介護連絡会、小平市リハビリテーション協議会、小平市通所連絡会、市内介護事業所、地域包括支援センター、権利擁護センター、小平市

●部会等の活動内容

企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> 年間取組みの企画案作成 総会企画
連携部会	<ul style="list-style-type: none"> 『在宅連携窓口』支援 ICT 情報連携シート改訂 病院と在宅との連携について検討 地域との連携
市民啓発・広報部会	<ul style="list-style-type: none"> 「健康ガイド」の改訂 市民向け講座・講演会の開催 市民への広報についての検討 ACPの周知、啓発
研修部会	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携研修 テーマ研修

●令和元年度 実施予定事業

内容	日程
協議会総会①	5月22日（水）
協議会総会②	12月7日（土）
幹事会①	4月24日（水）
幹事会②	7月3日（水）
幹事会③	10月
幹事会④	2月
多職種連携研修(西地区)	事例検討 10月19日午後
多職種連携研修(東地区)	事例検討 2月15日午後
テーマ研修①	ヘルパーのためのターミナルケア研修 6月7日夜間 6月21日夜間
テーマ研修②	最期まで“食べる”を支える（仮） 10月8日夜間
テーマ研修③	終末期リハビリの実際を知る（仮） 11月29日夜間
テーマ研修④	最期まで適切な服薬を支援する（仮） 2月1日午後
歯科医師会市民公開講座	企画中
市民セミナー①	在宅看取りについて 9月21日午後
市民セミナー②	在宅看取りについて 1月25日午後
認知症週間同時実施事業	企画中 11月16日午後

*各研修については関係団体を通してお知らせしています。市民向けの事業については、市報等でお知らせします。

小平市在宅医療介護連携推進協議会は、小平市医師会を中心に小平市内の在宅医療と介護に関係する団体・機関・事業所が集まり、活動しています。連携・情報共有を推進するとともに、共に学び、問題点を話し合い、在宅療養をする市民とその家族が安心して過ごせる小平市にすることを目指しています。

<平成 30 年度の活動紹介>

平成 30 年度に行った主な事業をご紹介します。平成 30 年度は『「小平で安心して いきて、いく」人生の最終段階～看取りを支えるために』をテーマに、「知る・学ぶ・考える」活動を行いました。

<協議会総会>

	内容	参加者数
第 1 回	新メンバー紹介、平成 30 年度の活動について	81 人
第 2 回	人生の最終段階を支えるために ～アドバンスケアプランニング(ACP)について考えよう～	82 人



人生の最期の時を考えるきっかけとなる「もしバナゲーム」を行った後に ACP について考えました。

<多職種連携研修>

	内容	参加者数
第 1 回	「地域に暮らす高齢者を支えるために」	<東地区> 53 人
第 2 回	～地域医療・介護の連携について考える～(事例検討)	<西地区> 63 人
第 3 回	講義・グループワーク 「ACP」から地域連携を考える ～まずは、身近なこととして話してみよう～	83 人

どの回も 10 職種の人たちが参加しています。

ワーキンググループで考えたがん末期の事例を通して、人生の最終段階における支援のあり方について考えました。

<テーマ研修>

	内容	参加者数
第 1 回	終末期医療の食形態や摂食方法を学ぶ ～言語聴覚士の見地から～	77 人
第 2 回	ヘルパーのための「ターミナルケア」基礎編	<東地区> 24 人
第 3 回	～看取りのケアの困りごと、一緒に考えてみませんか～	<西地区> 31 人
第 4 回	人生の最終段階におけるリハビリとは？	88 人
第 5 回	薬と緩和ケア～苦痛をなくしてそのひとらしくあるために～ 麻薬への「誤解」をなくしましょう！	50 人

千葉県立保健医療大学の安部能成さんに、終末期リハビリについて講演していただきました。ADL が落ちるなか、患者さんの意思を大事にしながらどう QOL をあげるのかなど、考えさせられる内容でした。

<市民向け事業>

	内容	参加者数
第 1 回	あなたの在宅療養支えます ～通院できなくなったらどうするの～	46 人
第 2 回	人生の終わりについて考えてみませんか ～看取りのための基礎知識～	41 人

「どこでどう生きていくか」「どこでどう最期を迎えるか」今後のことをご自分で考えて、周りの人に相談するきっかけになることを願ってセミナーを行いました。

連携部会では、病院と在宅の関係者が集まりよりよい連携を目指して話し合いました。

意見交換の結果を受け、「主治医・ケアマネジャー連絡票の改訂」と「多職種による連携を話し合う会の開催」について、現在、検討中です。

皆さんこんにちは。小平市在宅医療介護連携推進協議会会長の奥村です。この度、ニュースレターが発行されることになりました。私たちの取り組みを理解していただくとともに、小平の在宅医療介護にご理解をいただければ幸いです。

協議会ではフレイル予防、認知症対策、チームで支える人生最終章等について多職種で研修会をもち、学んだことを実践するべく努力しております。医療を受けるためにどのようにしたらよいか悩んでいる方の相談窓口として、医療と介護の関係者向けに在宅医療介護連携調整窓口、市民向けに地域包括支援センターなどがあり、多くの方に利用されています。幹事会では利用内容を精査し、より良いサービスを提供できるよう研鑽しております。去年、今年と”小平で安心して いきて、いく”というテーマで研修を行っており、市民啓発活動、市民公開講座、多職種連携研修会、各協議会の研修会等を実施しています。

自分らしく住み慣れた街で最期まで過ごせるようお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします